

平成 29 年 12 月 21 日

公益財団法人 建築技術教育普及センター

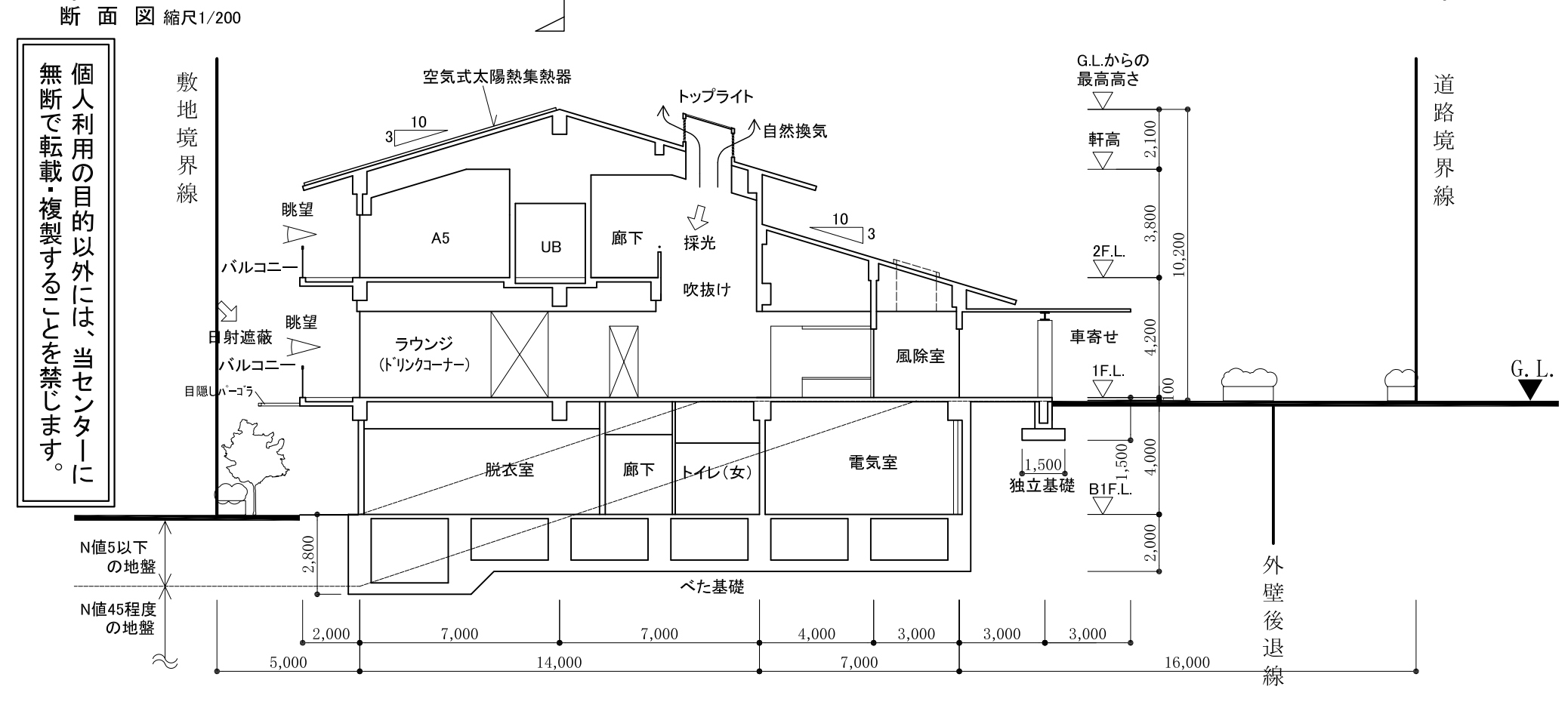
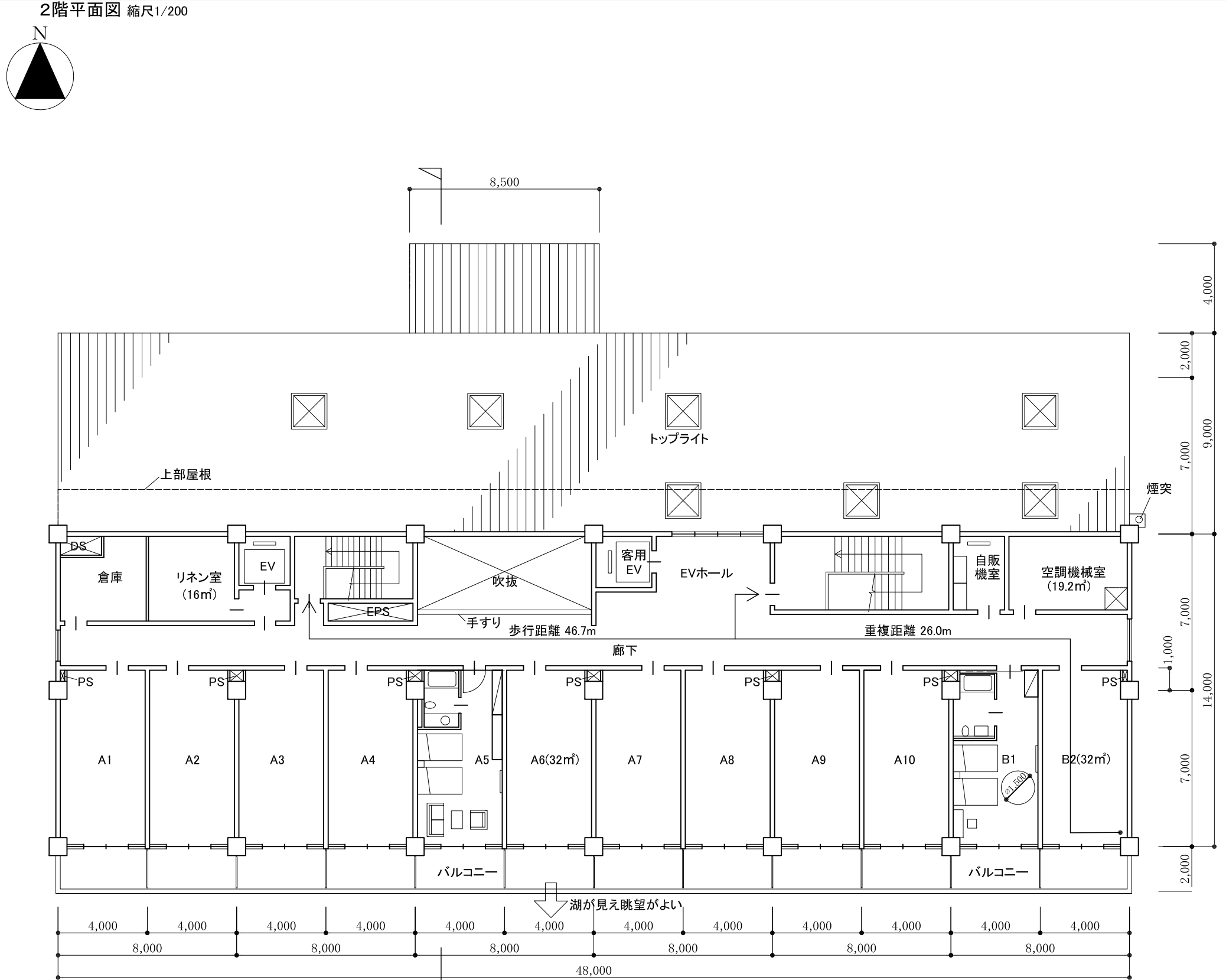
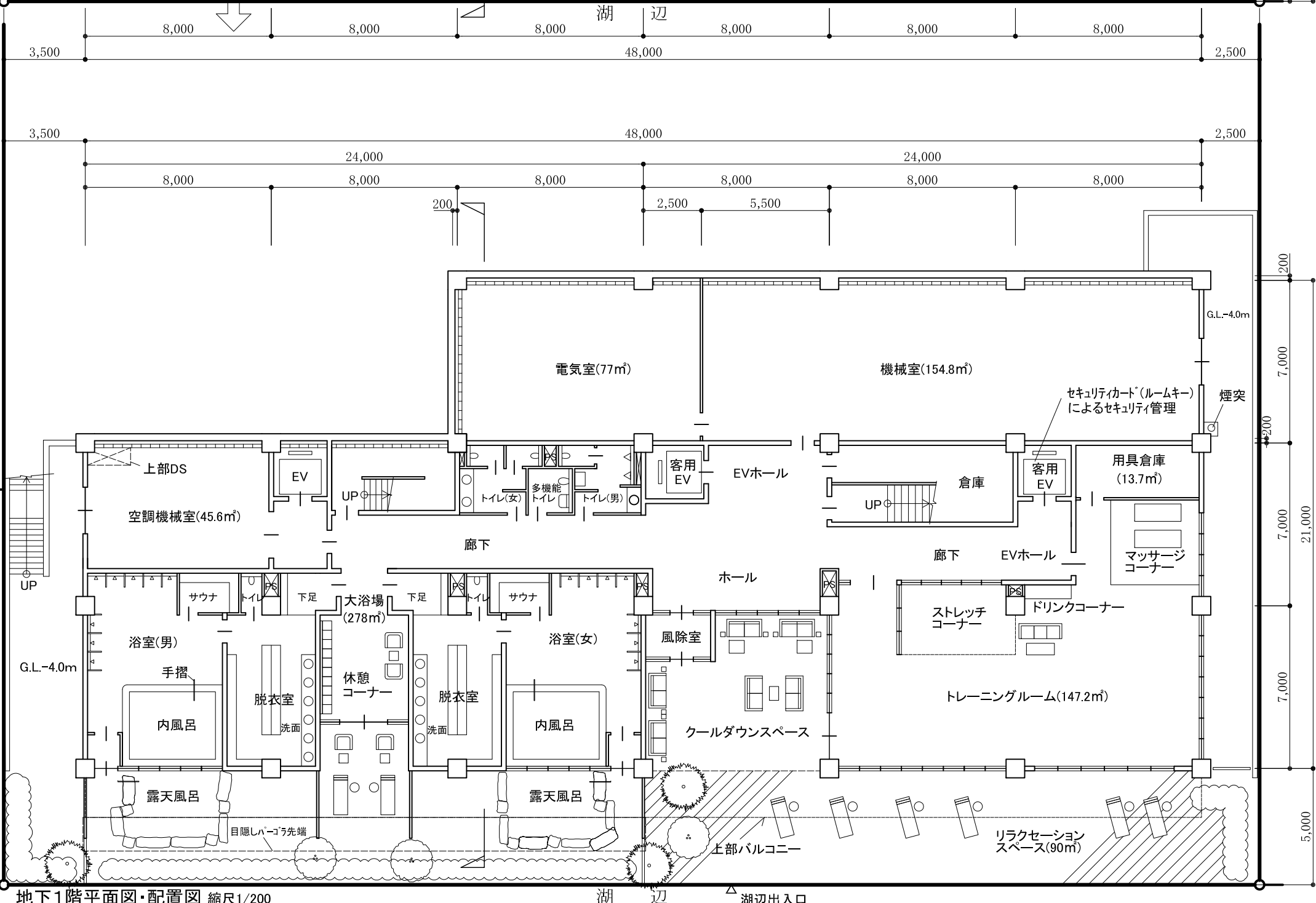
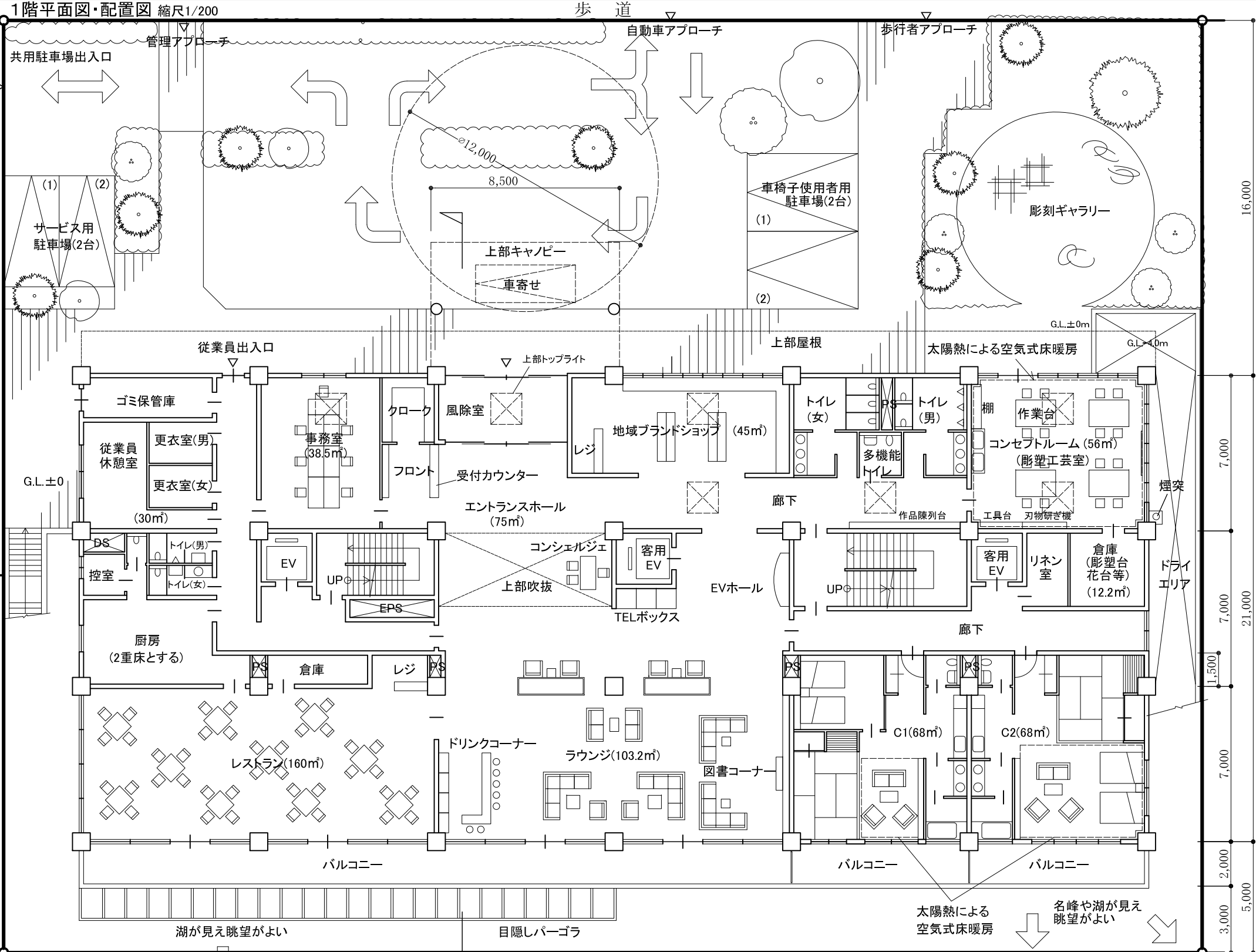
平成 29 年一級建築士試験「設計製図の試験」 の標準解答例の公表について

平成 29 年 10 月 8 日(日)に実施された標記試験の標準解答例（合格水準の標準的な解答例をいう。）を下記のとおり公表します。

一級建築士試験は、建築士法第 13 条及び第 15 条の 2 の規定に基づいて、国土交通大臣の指定試験機関である当センター（理事長 鈴木 眞生）が実施しています。

記

1. 標準解答例は、試験の透明性を高めるとともに、建築士を志す者に対して、一級建築士として備えるべき「建築物の設計に必要な基本的かつ総括的な知識及び技能並びに製図の能力」の目安を示す資料として、当センターに設置された試験委員会で作成されたものです。この標準解答例は、当センター本部・支部及び都道府県建築士会の事務所に掲示するとともに、インターネット上の当センターのホームページ（URL <http://www.jaeic.or.jp/>）にも掲載します。なお、標準解答例は、合格水準の標準的な解答例を示すことを意図したものです。
2. 計画の要点等については、公表することにより、解答パターンが定型化するなど、適正な試験実施に影響を及ぼすことが想定されることから、公表しておりません。
3. この標準解答例を転載・複製等する場合は、当センターの許諾を得てください。
4. この標準解答例に対する質問・問合せについては、一切お答えいたしません。



面積表 (算定式は、算出過程がわかるものとする。算出結果は、小数点以下第1位までとし、第2位以下は切り捨てる。)			受験番号	標準解答例① (この標準解答例は、合格水準の標準的な解答例を示すことを意図したものです。)
建築面積	(算定式)	1,138.0 m ²		
2階	(算定式) 48 × 14 - 8 × 3.5 = 644.0	合計		
1階	(算定式) 48 × 21 = 1008.0			
地下1階	(算定式) 48 × 14.2 + 32.2 × 7 = 907.0	2,559.0 m ²		

